

公園の水道設備点検ボランティアを実施 伊勢崎管工設備(協)

6月2日、伊勢崎市内の公園157箇所の水道設備の点検をボランティアで行った。2010年以来、毎年水道週間(6月1日～7日)に合わせて実施しており、今回が16回目。節水や市の公園維持管理費の節減に貢献している。

当日、伊勢崎市役所の東館市民ホールにおいて行った出発式では、伊勢崎市長・臂泰雄氏が挨拶の言葉を述べた。出発式後、組合員67社が各自担当する公園を回って点検し、必要に応じて部品交換や接合部の締め直しなどを行った。



出発式では市長が感謝の言葉を述べた

出発式参加者が見送る中、各自持ち場へ出発



電動アシストシステム付き自転車を 宿泊施設に設置

前橋旅館ホテル(協)

前橋市、太陽誘電(株)との3者間で観光促進事業に係る連携協定を締結。太陽誘電(株)が開発した「Re:BIKE」を含む15台の電動アシスト自転車を、6月より組合員の旅館・ホテル7箇所に設置している。

自転車は太陽誘電(株)より無償で貸与されたもの。組合は、宿泊客に利用してもらうことで、サービスの質を高めることがで



長距離走行可能な自転車が観光地へのアクセスを向上させる



きる。取得した走行軌跡データは公共交通環境整備などに役立てていく。

黒岩祐二理事長は、「車以外でお越しになる宿泊客の移動範囲を大きく広げることができる。宿泊施設付近のお勧めスポットを盛り込んだプランを提案するなど、観光資源との相乗効果を図っていきたい」と語る。

「弁天ワッセ」雨模様でも来街者を 楽しませる

弁天通り商店街(振)

6月3日、毎月恒例の「弁天ワッセ」を開催。商店街の中心にある大蓮寺の縁日が毎月3日であることにちなんで開いており、アーケードでフリーマーケットを行うほか、有志による路上ライブなど、自由に楽しい時間を過ごす場となっている。

当日はあいにくの雨模様であったが、地域の作家や農家など、多くの出店者が手作り商品や新鮮な野菜を持ち寄り、来街者が足を止めて楽しむ様子が見られた。



様々な商品が並ぶフリーマーケットは雨模様でも賑わった



大蓮寺の山門前のライブも恒例となっており、楽しい空間を創出している

Local Area News

群馬県ふるさと伝統工芸品展に 出展／協力

桐生織物(協)／群馬県菓子(工)

6月6日～9日の4日間、県庁1階県民ホールにおいて「群馬県ふるさと伝統工芸品展」が開催された。会場には、桐生織物(協)から「桐生織」の技法で織られた帯が出展された。その他、「桐生横振刺繍」、「伊勢崎括り餅」などの繊維製品や陶器、金工品、竹細工等、県内各地の伝統工芸品が展示・販売された。

今回は、群馬県菓子(工)が協力し、「職人の技が光る！群馬のお菓子フェア」も併催。県内各地の組合員が銘菓を日替わりで出展した。



「桐生織」の技法により織られた多種多様な帯

県内各地の銘菓販売も併催



変化の著しい経済情勢を把握するため 特別講演会を開催

(協)イーアイ開発研究会

6月20日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、「足もとの金融経済情勢」をテーマ

に特別講演会を開催した。講師は、日本銀行前橋支店支店長・宮将史氏。

宮氏は、経済成長率について、「追加関税をはじめとしたトランプ政権の政策が不確実であることから、当初見込みより下がる可能性が高い」と説明した。物価上昇率について、「一時的に高まっているが、夏以降は落ち着く見込み」と述べる一方、物価上昇が消費者の購買意欲を低下させている現状にも言及した。

こうした中、日本銀行のスタンスについて、「景気の動向を慎重に見極めつつ、金融緩和の度合いを調整する方針。アクセルを踏んでいる状態から、少し緩めるイメージである」と述べた。



宮将史氏

通常総会・UBAサミット・懇親会を 開催

全国中小企業青年中央会

6月20日、鳥取県鳥取市・ホテルニューオータニ鳥取において、全国中小企業青年中央会が2025年度通常総会を開催。群馬県中小企業団体青年協議会より、小林剛士会長ほか4名が出席した。

議案審議では、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算など全ての議案を異議なく可決した。

続いて、UBAサミットとして、「組合の現状と理想」について意見交換を実施。参加者は8グループに分かれて話し合いを行った後、グループごとの考えをまとめた。

懇親会では、11月の全国講習会や来年の通常総会の開催地の発表・PRを行った。



全国講習会開催地のPRを行う参加者